

岡山東ロータリークラブ創立45周年記念特別事業

災害時ボランティアリーダー育成シンポジウム

東日本大震災に学び
南海トラフ地震に備える

2013年
10月20日(日) 13:30~16:00

岡山県総合福祉会館

岡山市北区石関町2-1



参加自由
入場無料

基調講演

岩手県立大学 准教授 **山本克彦氏**

「東日本大震災 被災地の現状と災害時における
学生ボランティアの重要性と役割について」

研究分野は、児童福祉、社会福祉援助技術、福祉教育、ボランティア学習等。中学校教員、非営利公益団体職員、社会福祉法人職員を経て現職へ。学生時代よりボランティア活動に関わり、現在は学生ボランティアのネットワーク化を推進する、NPO法人いわてGINGA-NETの運営にも関わる。



パネルディスカッション

■コーディネーター／山本克彦氏 (岩手県立大学准教授)

■パネラー
坂井政行氏

(気仙沼復興株式会社 代表取締役)

気仙沼で東日本大震災を被災。避難所(気仙沼高校)での自治会リーダーを経て、仮設住宅自治会のリーダーとして活躍。復興を目的として被災者22名を雇用し、気仙沼復興株式会社を設立。仮設住宅に暮らす方々を対象にさまざまなサービスを提供している。

■パネラー
八重樫綾子氏

(NPO法人いわてGINGA-NET代表)

NPO法人いわてGINGA-NETは、被災地の要支援ニーズと学生のボランティアニーズを効果的に結びつける「いわてGINGA-NETプロジェクト」を結成。学生たちの岩手県内各地でのボランティア活動に参加する仕組みを推進。2011年夏、全国146校、1,086名の学生ボランティアが集まった。

■パネラー
高田彩加氏

(中国学園学生東北支援ボランティア2013 代表)

中国学園では、諸団体の協力を得て、2011年より7回にわたり宮城県気仙沼市へ学生東北支援ボランティアを派遣。学生ボランティアとして活動する中、現地ですでたこと、できなかったこと、学んだこと、感じたことなど多くの気づきを得る。

■パネラー
井上和宣氏

(岡山東ロータリークラブ会員)

壮年、老年会員が多いロータリークラブのボランティア活動において、東北支援ボランティアとして、中国学園大学ボランティア事業のサポートや気仙沼市での仮設住宅居住者を対象とした「よろず相談会」「岡山ナイト(交流会)」等の活動を行った中心メンバーの一人。

主催  **岡山東ロータリークラブ**

事務局 / 岡山市北区錦町1番8号岡山県木材会館4F
TEL.086-222-9590 FAX.086-224-4288

●後援 / 岡山市教育委員会・山陽新聞社